



市議会だより

発行
各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69
電話058-383-2001

編集
市議会だより編集委員会

かかみがはら



(協力：布を染め製作した創花工芸作品 深尾弘子さん)

9月定例会

主な議案説明	2	市政を問う 一般質問	
審議結果	3	市内一斉防災訓練	6
委員会審査、委員会調査報告		桜回廊の観光資源化	7
総務・民生消防常任委員会	4	地球温暖化対策の取り組み	8
経済教育・建設水道常任委員会	5	航空宇宙科学博物館の役割	9
		市民の声、議会素描	10

平成19年度水道事業決算を認定

三井・小網水源地の設備工事などを実施

平成20年第3回各務原市議会定例会(9月定例会)を9月5日から9月29日の25日間の会期で開催しました。

今期定例会に市長から提出された議案は、平成19年度水道事業会計決算をはじめとする20議案で、委員会、本会議審議を経て、いずれも原案のとおり認定・可決・同意・承認しました。

- 第3回定例会に市長から提出された議案は、
 - 専決処分の承認 1件
 - 決算の認定 1件
 - 予算の補正 4件
 - 人事の案件 6件
 - 条例の改正 4件
 - 定款の変更 1件
 - 工事請負契約の締結 1件
 - 市道路線の認定 2件
- の合計20案件です。
主な議案内容は、次のとおりです。

水道事業会計決算

19年度は、老朽設備更新事業、鉛給水管取替事



川崎山配水池

業を主体として推進し、市民の快適な日常生活を支えるため、安全な生活用水の安定供給に努めました。

改良事業では、地震などの災害による停電時での水マスタープラン」に基づき、三井水源地取水設備・送水ポンプ更新工事、小網水源地配水ポンプ設備増設工事などを実施し、総額8億4,896万6,487円を執行しました。

経営状況

損益計算は、総収益26億5,712万9,455円、

総費用23億1,229万

2,881円で、差し引

き3億4,482万8、

064円の純利益となり

ました。

これに、前年度繰越利益剰余金2,008万2,925円を加えた当年度未処分利益剰余金は3億6,491万9,899円となりました。

このうち、3億3,000万円を減債積立金に、2,000万円を建設改良積立金に積み立てました。

資本的収支は、収入額6億5,616万5,647円、支出額22億658万8,072円となりました。

収入額が支出額に対して不足する額15億5,042万2,425円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金で補てんしています。

一般会計補正予算

20年度一般会計補正予算(第3号)

税源移譲による所得変

- ・ 動に伴う、市民税の過誤納還付をはじめ、テクノプラザ3期整備事業に伴う取付道路の改良・新設事業、グリーンスタジアムが、JOCナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点に指定されたことに伴う施設整備費など、当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算及び債務負担行為の補正を行うものです。
- 歳入の主なもの
 - ・ 国庫支出金 3,306万5千円
 - ・ 県支出金 820万円
 - ・ 繰越金 2億6,336万5千円
 - ・ 諸収入 919万7千円
- 歳出の主なもの
 - ・ 市税過誤納還付金 1億4,000万円
 - ・ 市道各125号線道路改良、各545号線道路新設事業費 5,000万円
 - ・ ナショナルトレーニングセンター事業費 3,171万2千円

などを計上した結果、一般会計の予算規模は、3億1,382万7千円を追加し、補正後の予算総額は406億9,503万9千円となります。

20年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
退職被保険者等に係る高額療養給付費の見込み増、後期高齢者支援金の額の確定などにより、歳入歳出ともに1億5,172万6千円を追加し、補正後の予算総額を131億8,472万6千円とするものです。

20年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
過年度分の介護給付費等を基金へ積み立てるため、また、19年度の介護給付費の確定による精算還付に伴い歳入歳出ともに1億5,186万8千円を追加し、補正後の予算総額を72億5,266万1千円とするものです。

20年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
後期高齢者医療制度の

見直しに伴い、歳入歳出ともに89万1千円を追加し、補正後の予算総額を17億4,234万5千円とするものです。

その他の議案

固定資産評価審査委員会委員の選任
固定資産評価審査委員会委員津川文江氏(那加不動丘)の任期が9月30日に満了するため、再び同氏を選任しようとするものです。

工事請負契約の締結
リサイクルセンター建設工事の請負契約を、随意契約により、21億円でJFE環境ソリューションズ(株)名古屋支社と締結するものです。

常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正
国民健康保険料の徴収に携わる嘱託職員による不祥事を受け、市長及び副市長の20年10月分の給料月額を1割減額するものです。

審議結果 (9月定例会)

- 議会会議規則の一部を改正する規則・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 専決処分の承認(20年度一般会計補正予算(第2号))・・・・・・・・ 原案承認・全会一致
- 19年度水道事業会計決算の認定・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案認定・賛成多数
- 20年度一般会計補正予算(第3号)・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決・賛成多数
- 20年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 20年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 20年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 固定資産評価審査委員会委員の選任(津川文江氏)・・・・・・・・ 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(遠藤裕氏)・・・・・・・・・・・・ 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(足立正延氏)・・・・・・・・・・・・ 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(勝野武雄氏)・・・・・・・・・・・・ 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(仲美代子氏)・・・・・・・・・・・・ 原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(紙谷しのぶ氏)・・・・・・・・・・・・ 原案同意・全会一致
- 市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 福祉の里条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・・・ 原案可決・賛成多数
- 土地開発公社定款の変更・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 工事請負契約の締結(リサイクルセンター建設工事)・・・・・・・・ 原案同意・賛成多数
- 市道路線の認定(市道鶉1309号線)・・・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 市道路線の認定(市道鶉1310号線ほか2路線)・・・・・・・・・・・・ 原案可決・全会一致
- 常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例・・・・ 原案可決・賛成多数
- 生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書・・・・・・・・ 原案否決・賛成少数

委員会審査



今期定例会に、市長から提出された19年度水道事業会計決算の認定をはじめとする14議案について、去る9月22、24日の2日間で、常任委員会を開催し、審査を行いました。

主な質疑内容は、次のとおりです。

総務常任委員会

専決処分の承認(20年度一般会計補正予算)

▼質疑 臨時会を開かず、専決処分をした理由は。

▽答 過誤納還付金は地方税法に基づいて速やかに還付する義務があり、還付が遅くなると利率4.7%の還付加算金が発生するため、専決処分に対応をした。

工事請負契約の締結(リサイクルセンター建設工事)

▼質疑 業者の選考委員会の構成メンバーは。

▽答 副市長、都市戦略部長、総務部長、環境部長、都市建設部長、契約

管財課長、環境政策室長、北清掃センター所長、建築指導課長である。

常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正

▼質疑 公金着服問題の最高責任者は誰か。

▽答 職員の事務決裁規定上、管理監督責任が一番あるのは課長である。

民生消防常任委員会

福祉の里条例の一部改正

▼質疑 福祉の里に利用料金制を導入すると、すべての収入が指定管理者に入るということか。

▽答 仮に事業全体経費を100、そのうち事業収入を70とすると、これまでは、市が指定管理者



福祉の里

に委託料として100を支払い、国県の補助金を含めた収入70を市が受けていた。

この改正により、事業収入の70を指定管理者が受け、残りの30を委託料として市が支払うことになる。

20年度一般会計補正予算(所管分)

▼質疑 4月から民営化

委員会調査報告

議会運営委員会

〈期間〉7月28日・29日

○東京都国分寺市

○長野県岡谷市

「一問一答方式」

議会の活性化を図るべく、本会議での質問について、一問一答方式の具体的な調査のため、東京都国分寺市を視察した。

議員6名と意見交換を行い、一問一答方式についてより具体的に理解を深めることができた。

利点としては、前置きが短くなったほか、抽象的な答弁が減った、やりとりがわかりやすいなど傍聴者からも好評であるとの意見があった。

課題としては、それぞれの市議会にあったルールづくりが必要であり、そのためにも議員全員の理解が大切であるのとこのことであった。

この視察を機に、議員全員を対象に、一問一答

方式を導入している近隣市議会を視察し、比較検討するなど共通認識を深めることとなった。

「議会中継」

住民に開かれた議会を目指し、議場でのやりとりを映像として公開している岡谷市を視察した。

議会を知る機会をつくることは重要であり、ご覧になられた方からは、議会の様子が良くわかり好評とのことであった。

現在、議会運営委員会では、一問一答方式の来年度からの採用について協議中であり、また、インターネットによる本会議中継についても、その設備などの導入を検討中である。



映像配信システム(岡谷市)

される2つの保育所について、引き継ぎするための保育士の人的確保はできているのか。

▽答 各務保育所は、園長と引き継ぎ保育士2名が決定している。

蘇原南保育所は、園長は決まっているが、引き継ぎ保育士2名は人選中である。

(※現在は人選済み)

20年度介護保険事業特別会計補正予算

▽質疑 介護給付費準備基金積立金を1億円計上しているが、現時点でどのくらいあるのか。

▽答 今回の積み増しで積立金は、3億3,700万円になる。

▽質疑 どれだけ積み立てておく必要があるのか。

**経済教育
常任委員会**

20年度一般会計補正予算(所管分)

▽質疑 ダンスフェステ



ダンスフェスティバル

イバルの事業費が100万円追加され600万円となったが、その理由は。

▽答 市からの負担金500万円だけでなく、長寿社会づくりソフト事業費交付金100万円を含めて事業を進めている。

ダンスフェスティバル実行委員会が交付金を直接受け取れないことから、市を経由した。

▽質疑 昨年度実績からすると、75万円ほど不足するが大丈夫か。

▽答 他に企業からの協賛金や寄付金、出演者からのエントリー料を予定している。

**建設水道
常任委員会**

19年度水道事業会計決算

▽質疑 水道水のPH値の調整は。

▽答 そのままでも水質上は問題ないが、くみ上げた地下水を、各水源地で空気に触れさせることで中性に近づけるようにしている。

各家庭で安全に安心して飲んでいただけるよう処置している。

▽質疑 水道管の種類で耐震性のあるものは。

▽答 鋼管や铸铁管の一部が耐震に適合しており、ビニル管は耐震性がない。

▽質疑 水道事業庁舎に設置した自家発電装置の発電能力は。

▽答 発電能力は通常使用で約6時間である。

▽質疑 水源地の地下水の水位は。

▽答 ここ10年ほどで平均すると、約2m水位が上がっており、水量的には大丈夫と考えている。

民生消防常任委員会

〈期間〉7月15日～17日

○栃木県宇都宮市

「もったいない運動・環境学習」

「もったいない」という日本特有の言葉を再認識し「人やモノを大切にすること」を基本としている。

その精神が市民の日常生活や事業活動に結びつく取り組み全体を「もったいない運動」として展開している。

ワンガリ・マータイ博士らを招いた「第2回もったいない全国大会」を開催した。

「□□マーク・もった



天童市民病院

いない絵本」の作成・配布、「川柳・宣言家庭」の募集、マイ箸、マイバッグ運動の推進などが充実していた。

この「もったいない」の精神は、本市が目指す環境行動都市においても非常に大切なことであり、ぜひ参考としたい。

○山形県天童市

「市民病院の課題と方策・地域医療連携」

今年4月に新しく改築された天童市民病院を視察した。

市民の健康を守るために、より高度な検査ができる医療機関として改築され、市民病院に来て良かったと思われる病院を指して、「もてなし運動」を実践している。

改築後は、患者数も増加しているとのことである。

その他、宮城県仙台市で「地球温暖化対策・ごみ減量・給食ごみの堆肥化」などの事業を視察した。

市政を問う 一般質問

9月18日、19日の2日間、市政に対する一般質問を行いました。質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

浅野健司、波多野こうめ、三和由紀、吉岡健、高島貴美子、今尾泰造、横山富士雄、永治明子

議員の質問および市長以下関係部長の答弁は次のとおりです。

市内一斉防災訓練

市民や職員の防災力が向上

▼問 初めて、市内全域で一斉防災訓練が実施されたが、評価と課題は。

▼答 各自治会、関係防災機関など6、154人が訓練に参加した。

市内各地区の一次避難所では、現地連絡所員が

主体となり自治会長と協働し、避難所運営訓練を実施することができた。

この訓練を通して、市民の防災意識や市職員のマンパワーの向上など地域の防災力がアップしたと考えている。

自治会連合会長からの意見や、現地連絡所長など職員からも意見を吸い上げ、課題を取りまとめ中である。

▼問 同報無線(災害情報スピーカー)が聞きづらい地域があるが対策は。

▼答 地理的状况により、一部の地域で聞きづらいつの意見があることは承知している。

聞きづらい地域に対しては、実地調査を行い、スピーカーの向きや調整や数を増やすことで対応していく。

8月豪雨

▼問 8月の集中豪雨の実態と被害状況は。

▼答 西消防署の計測で、28日の午後9時から11時まで104.5ミリの記録的な雨量を観測した。市西部を中心に床上浸水1軒、床下浸水59軒、道路冠水16カ所の被害があった。

▼問 豪雨の時、応急対策はどうしたのか。

▼答 大雨、洪水警報が発令される30分前の午後9時30分から関係各課の職員が順次参集し、小康状態となった午前3時までの間、情報収集や危険箇所のパトロール、冠水道路の通行止め、那加福祉センターの避難所開設などの応急対策に努めた。

また、水位が急上昇した新境川、岩地川では、職員や地元消防団員が警戒にあたり、いつでも応急対策が取れる態勢をとった。

▼問 豪雨災害時の応急対策の中で、行政が手を打つべき範囲とそうでない範囲があると思うが、市の考えは。

▼答 市は、現状把握や降雨予測を的確に行い、迅速に情報を提供するなど、市民の安全確保に努めることが重要である。

市民には、居住地域の特性をよく把握し、自宅の浸水対策や、災害時要援護者の避難行動の手助けをお願いしたいと考えている。

防犯灯

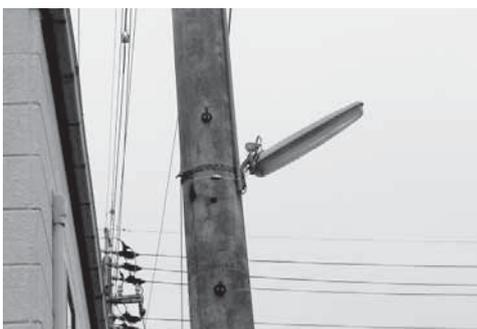
▼問 本来、防犯灯の維持費は市が負担をすべきであると思うが、自治会負担を廃止する考えはないか。

▼答 地域の安全は地域で守るといふ共助の考えに基づき、通常の維持管理費は、自治会にお願いしている。

老朽化による器具の更新など費用負担の大きいものは市で対応している。



総合防災訓練 (川島小学校)



防犯灯

桜回廊の 観光資源化



桜回廊の植樹

▼問 総延長39kmに及ぶ桜回廊の観光資源化についての考えは。

▼答 完成すれば、世界一の規模の桜回廊となる。現在行われている25を超える屋外イベントが、桜回廊で行われることになり、66万人を迎える観光資源となる。

また、サイクリングやジョギング、散歩などにも利用できるよう整備していく。

▼問 城山整備の現状と今後の整備計画は。

▼答 城山は景観、環境保全の観点からも大変重要であり、「東玄関のランドマーク」である。桜回廊の拠点として位置づけられており、来年度以降、有利な国庫補助を受けて、補助事業として整備していく。

財政健全化 判断比率

▼問 今年度から施行された地方公共団体健全化法により、健全化の指標の公表が義務付けられたが、この指標に対する認識と評価は。

▼答 実質公債費比率は3.2%、その他の指標についても、健全な数値であり、全国レベルでも非常に良好な結果であるといえる。

また、社会資本に対する現在までの負担割合は、

▼問 一般会計ベースで92%であり、次世代への負担を極力抑えている。今後とも、独立都市自治体として強い健全財政都市を持続していく。

▼問 道路特定財源は、今年度、1カ月間の歳入不足が生じているが、道路行政への影響は。

▼答 道路特定財源の暫定税率の1カ月間の失効により、約1千万円前後の歳入減となる見込みだが、今年度については、何ら支障なく道路行政を行っている。

今後とも国の動きを注視していきたい。

▼問 12月議会で行われ



工事中の坂祝バイパス

ている決算認定については、9月議会に前倒しをする市が増えているが、本市の考えは。

▼答 決算は、収入役が出納閉鎖後、8月までに市長に提出し、その後、監査委員の審査を受けて、決算認定議案を12月議会に上程している。

早期の決算の調製や健全化判断比率の公表が重要になってきており、全庁的に一連の決算事務作業の調整を進め、決算認定議案を上程する議会の前倒しを検討していく。

リサイクル センター

▼問 リサイクルセンター建設について、選定した業者が辞退した理由は。

▼答 提案書の締切日に、指名した2社のうち、1社から辞退届けの提出があった。

理由については、特に

記載がないため承知していない。

▼問 リサイクルセンター建設について、業者選定をコンペ方式で実施、辞退により最終的に1社となったが、これと似た理由は。

▼答 コンペ選考委員会において審査した結果、提案書が市の発注仕様書の要求事項を満足した計画、内容であり、提案価格が市の提示した工事基準額の範囲内であることから選定した。

その後、指名業者審査委員会にこの選考結果をわかり、決定したものである。

▼問 市嘱託職員による公金着服に関する調査結果と問題点は。

▼答 「公金適正処理対策会議」を立ち上げ調査した結果、9月10日現在で被害者78人、被害件数360件、被害総額310万7,600円であった。

現在、調査結果に基づき問題点を解明している。

地球温暖化対策の取り組み

壁面緑化、屋上緑化などを検討

▼問 地球温暖化対策条例を制定してはどうか。

▼答 環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画を踏まえ、行政、市民、事業者、民間団体などの責務を明確にし、環境施策の枠組み、数値目標、計画の進行管理、評価の手順を反映する条例の検討をすでに進めている。

▼問 公共施設、民間企業の壁面緑化、屋上緑化を進める考えは。

▼答 建築物の壁面緑化や屋上緑化は、地球温暖化対策や良好な景観創出にも有効な手段と考えており、一定規模の工場や事業所の新設などに対して緑化指導をしている。

また、住宅や店舗などの接道部（道路に接している部分）の緑化の助成を行っているが、接道部以外の壁面緑化や屋上緑化に対する助成についても検討したい。

緑ごみ

▼問 緑ごみが一般ごみとして出せなくなったが、運搬方法がない高齢者などには不便であり、緑ごみが出るシーズンだけでも不燃物回収場所での回収ができないか。

▼答 緑ごみの回収は、4月から市内9カ所の拠点で月1回実施しているが、当初の予想をはるかに上回る量が搬入されており、市民の高い理解と協力のあらわれと考えている。

このような状況から、回収拠点を10月から15カ所に増設、さらに、10月から12月までの3カ月間は、月2回の回収とし、搬入者の利便の向上を図

りたい。

また、高齢者などへ配慮した緑ごみの回収を実施する地域・自治会には、積極的な支援をしていく。今後、下半期の実績を検証しながら、柔軟な回収方法を検討する。



緑ごみ回収ステーション

▼問 購入費用の一部補助を行っているコンポストやせん定枝粉碎機への助成の状況は。

▼答 現在、延べ34件の助成をしており、今後も機会あるごとに助成事業のPRに努めたい。

▼問 コストがかからず、においの少ない段ボールコンポストを普及する考えは。

▼答 どの家庭でも身近

で手軽に取り組める生ごみ減量の有効な手段の一つであるので、出前講座や環境講座などでPRに努めたい。

安心できる医療体制

▼問 東海中央病院に30億円の支援金を出しているが、病院の体制づくりが、積極的に関わらざるべきでないか。

▼答 東海中央病院は、市民病院の役割を担う地域の中核病院と認識しており、医療スタッフの充実や地域医療連携の推進等を強く要望している。

▼問 出産までのリスク軽減と少子化対策の一環として、妊婦健診の無料券の拡充はできないか。

▼答 妊婦健康診査受診票を4枚、妊婦超音波検査受診票の2枚を交付し、合計6回分の公費助成を行っている。

周辺市町も同様の状況であり、現時点での拡大の考えはない。

消防団

▼問 複雑多様化する災害に対応した消防団設備の整備が必要では。

▼答 消防団は、地域防災の重要な役割を果たしている。

各種災害に対応した装備及び施設などを充実させる必要があり、今後も更新計画に基づき、順次整備していきたい。



消防団の県操法大会

航空宇宙科学博物館の役割

子どもたちに体験学習の機会

▼問 8月23日に野田大臣が航空宇宙科学博物館を視察されたが、大臣の感想の弁は。

▼答 「全国に誇れる施設であり、子どもたちが宇宙などの理解を深めるためにはこうした環境が必要である。ロケットコーナーの情報を更新してはどうか」など話された。

▼問 朝刊紙の座談会記事によると、博物館は、子どもたちに夢を与える仕掛け、機能充実と博物館本来の役割を強化させ



水ロケットの製作と打ち上げ教室

るとのことだが、どのようなことか。

▼答 各務原における航空宇宙の歴史などを発信しながら今後、ロケット関係の展示品や映像を更新・充実させるとともに、ロボットやロケットづくりなどの体験学習機能を充実させたい。

そのために専門知識の豊富なボランティアや関係機関・企業とのネットワークの強化に努めていく。

▼問 航空宇宙都市としての「地域振興」の考えと、「人づくり」における産学官の連携は。

▼答 わが国の航空機生産の拡大が予測され、本市に集積する企業群が引き続き主要な役割を担っていくと考える。

今後技術波及効果も得て量的・質的に拡大していくことが、本市の地域振興につながると期待しており、工業団地テク

ノプラザ3期開発整備事業を進めている。

また「人づくり」は重要な課題であり、現在経済産業省から委託を受けVRテクノセンターで岐阜大学・中日本航空専門学校などの協力を得て、産学官連携による航空宇宙産業の企業人材育成を始めている。

今後幅広い段階における人づくりを積極的に進めて行く。

各務野やさいプロジェクト

▼問 各務野やさいプロジェクト事業の現況は。

▼答 「各務野やさい」の創出とブランド化を目指すとして、商工会議所と協働し、実験農場での試験栽培や調理方法の開発、野菜に関するアンケート調査などを実施している。今後、農と商工が連携して事業を展開すれば市

の活性化につながると考える。

市民清掃

▼問 「市民清掃の日」の参加者は高齢化が目立ち、河川などの急傾斜地での草刈りは危険であるが、その対策は。

▼答 市民憲章の「自然と文化財を守り、美しいまちをつくります」を具現化した自主的な市民活動として定着している。自治会には、危険な箇所は刈り残すようお願いしている。



市民清掃 (大安寺川)

屋外広告物

▼問 屋外広告物の調査状況は。

▼答 18年度から全域で調査を行っており、調査済のところから順次申請書類を送付している。

現在、国道21号線、江南関線など主要幹線道路の一部について書類を送付した。

調査件数は904件で、このうち188件の届け出と45件の是正がなされ、26%の改善率となっている。

▼問 届け出のない人への対応は。

▼答 条例の趣旨を理解していただく説明文書を再送付する予定である。

▼問 経営破たんした事業所への対応は。

▼答 屋外広告物を再利用するか、撤去するかなど、相手方の動向により適正に処理していく。

『日本をリードする都市へ』

先日、名鉄岐阜駅前で一枚のチラシを受け取りました。岐阜県酪農農業協同組合の方々による「飼料の高騰と原油高により経営が圧迫されている現状を知っていただき、牛乳の値上げにご理解を」と訴える内容のものでした。

切実な声に胸を突かれる思いがしました。牛乳は、我が家の子どもたちにとって欠かせません。数年前、余った牛乳を捨てる生産者の姿が報道されていきました。「国や地方は、もっと食料政策に力を入れるべきではないか。」そんな考えが頭の中を駆け巡っています。にんじんを特産物とする各務原ですが、にんじん農家はここ20年で半減、出荷量はおよそ3分の1に減少しているそうです。このことから、各務原でも農家の厳しい現状がう

かがえます。残念なことでもあり同時に、将来が心配でもあります。

各務原市の都市戦略には「教育日本一」が掲げられています。ゆとり教育には反対ですが、幸い、我が家の子どもたちはスポーツ少年団に入り、土日もしつかり忙しく体を

市民の声



那加桜町 津田あずさ さん

鍛えています。ボランティアの方々も休日返上で子どもたちに指導してくださっているおかげです。親まで熱くなり、笑いあり、感動あり、共通の話題ができました。

しかし、スポ少加入率は20%未満です。入団をためらう理由の一つに、「土日親が忙しい」が挙がっています。

では、残りの80%以上の子どもたちは週休二日制のメリットを十分に活かしているのだろうか、教育という視点で見たときに非常に気になります。「教育日本一」の事業項目にもありますが、家族・地域の絆を大切にできる環境を整え、日本の教育をリードする都市になることを期待します。

ご理解をお願いします

○寄附の禁止

選挙区内の方に、議員は寄附することができません。

本人が出席しない結婚祝いや香典、地域の行事やスポーツ大会への飲食物の差し入れ、お中元、お歳暮などは禁止されています。

○あいさつ状の禁止

議員は、選挙区内の方に年賀状などのあいさつ状を出すことは禁止されています。(答礼のための自筆によるものを除く)

市議会を傍聴しましょう

次の定例会は、11月25日
開会予定です。

会議当日、午前9時30分から
市役所6階で受付しています。

詳しくは議会事務局総務課へ



議会素描

▼議会改革の一環で、質問方式を検討中。議論を深め、市民にわかりやすい質問戦へ。

▼議会をより身近なものに感じていただけるよう、本会議のインターネットを利用した議会中継も検討中。うっかりあくびもバッチリ撮られそう…。

▼公金横領。あつてはならないことである。これを機にさらなるチェック体制強化・不正ができないシステム構築に注力しましょう。

▼燃料、諸物価の高騰、秋深し、身も心も財布も寒さに向かうのか。暮らしを暖める施策が必要。

▼市議会だよりをいかに読んでいただくか、編集に苦勞している。「議員の仕事は」「議会はどのように審議しているのか」に限られた紙面を使って、お知らせしています。ご意見をお寄せ下さい。

* * *

市議会だより編集委員会

◎梅田利昭

◎永治明子

横山富士雄、吉岡 健、

尾関光政、三和由紀

(◎委員長 ○副委員長)